

よしだ文化会館だより

No. 85
2004. 9. 1

おもしろい工作教室

七月二十九日、吉田文化会館で「おもしろい工作教室」を行いました。およそ百三十名の子どもたちが参加して、キーホルダー、竹とんぼ、牛乳パックを使ったおもちゃなどの工作に挑戦しました。



この行事は、多くの友だちとのふれあいをとおして、子どもたちの仲間づくりを進め、人権意識を高めることを目的として、山鳩子ども育成会、吉田小学校、吉田文化会館が合同で開催している地域交流事業です。工作の指導には、吉田保育所、新吉中学校の先生方にもご協力をいただきました。

吉田文化会館Q & A

Q. どのような施設ですか？

A. 「隣保館」という社会福祉施設です。地域福祉の向上や、人権啓発のための住民交流の拠点として、生活上の相談に応じたり、人権課題の解決のための事業を行ったりしています。



Q. 「隣保館」はどうしてできたの？

A. 隣保館は同和問題を解決しようという熱意のもとに建設され、現在は全国に約千館あります。

笠岡市には一館（吉田文化会館）があり、その前身である「吉田隣保

よしだ文化会館だより①

館」は一九六五（昭和四十）年に開館しました。そして、一九八二（昭和五十七）年に改築し「吉田文化会館」と改称して現在に至ります。



吉田隣保館

Q. 「よしだ文化会館だより」はなぜ市内に全戸配布しているのですか？

A. より多くの人に人権問題に関心をもってもらいたいという願いからです。笠岡市の人権啓発の拠点として、今後も人権情報を発信していきたいと思えます。

なお、今号より「広報かさおか」の紙面の中で、継続して発行することになりました。年二回の発行です。